

# 令和6年度『みかわ彩発見 絵画コンクール』表彰式 代表児童のことば

令和7年2月9日（日）三河教育会館にて

## 【「春・夏の部」代表：小6最優秀賞】 岡崎市立羽根小学校 6年 森本 千咲 さん

みかわ彩発見絵画コンクール 春・夏の部には、コロナ禍だった2年生を除き、毎年応募してきました。6年生は最後のチャンスなので、いちばん気合を入れて描きました。

この絵でいちばん工夫したのは、ゆかたのがらです。画用紙に水をひいてから、うすくとかした絵の具を垂らし、にじませていきます。かわくとにじまなくなるので、スピードが命です。迷っているひまがないのであせったし、とても神経を使いました。



【森本さんの作品】

完成した絵を見て、何かの賞をもらえるのではないかと手応えを感じました。ホームページで受賞者のチェックをしていたとき、最優秀賞のところに自分の名前があっただけおどろきました。6年間の努力が実って、とてもうれしかったです。中学校でも、絵は続けていきたいです。ありがとうございました。

## 【「秋・冬の部」代表：小6最優秀賞】 刈谷市立双葉小学校 6年 近藤 佳歩 さん

今日はこのようなすばらしい表彰式を開いていただき、ありがとうございます。

私は、1年生のころからこの絵画コンクールに参加してきました。最後にこんな大きな賞をいただけて、とてもうれしいです。

私は絵を描くとき、家族との思い出や、季節の行事で楽しかったことを絵にしています。今回この絵を描いたのは、町内で行われたお祭りで、友達が巫女として美しい扇とともに舞うようにおどっていて、心をひかれたからです。



【近藤さんの作品】

この美しい扇を表現するために、「スパッタリング」という描き方を使い、細かい模様を表現したり、濃い色とうすい色を塗り分けたりして、扇がより立体的に見えるように工夫しました。

このコンクールを通して、私は季節の行事を学んだり、地元の魅力を再発見したり、たくさんの経験をしました。中学生になってもたくさんの方の経験をしたいです。このような素敵なコンクールを開いていただき、ありがとうございました。